

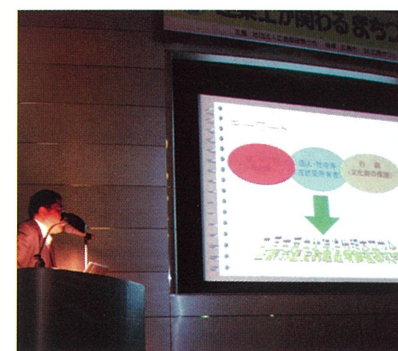
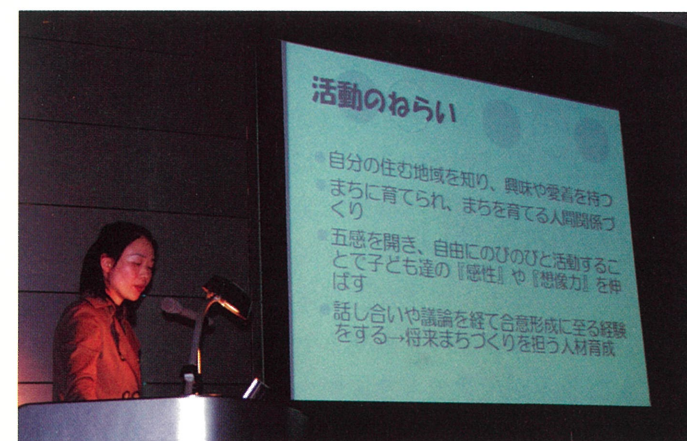
建築士が関わるまちづくりトーク2008

社会活動委員会 委員長 杉田 輝征

2月17日、広島県地域貢献活動センターの助成団体による初めての活動発表会として、社会活動委員会が中心になって開催致しました。地域でまちづくりに活動する人々と建築士が相集い、多くの情報交換の場となりました。

広島県地域貢献活動センターは、建築士が自らの職能や建築士会の場を通して地域のまちづくり活動への支援をすることを目的として、広島県建築士会の中に設立しています。本年度も13の団体を助成し、平成12年の設立以来、助成団体は30近くになりました。初めての活動発表を通じて、関係者並びに助成団体は内容をより深く理解し、支援する目的が幅広いものへとつながり、より効果的な地域活動になると認識致しております。

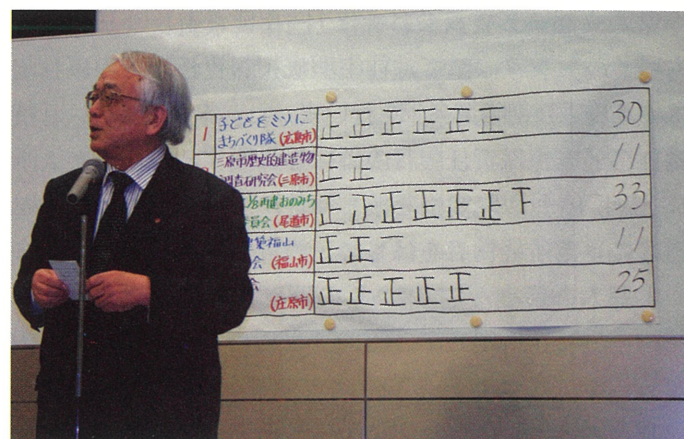
また、建築士会の青年・女性部会はかねてより、地域実践活動を積極的に展開しており、例年行われる「青年・女性建築士の集い中四国ブロック大会」に進出する県代表選考会を実施してきました。この度、7支部から選ばれた貴重な実績の発表を、多くの会員をはじめ地域の方々へも公開したいと、合同で「建築士が関わるまちづくりトーク2008」として開催するに至りました。錦織審査



委員長と審査員に加え、100人余りの参加者全員が投票し、最後まで全員が一体となって発表者に敬意を払うことができました。

青年・女性部会による地域実践活動発表は、

1位に広島支部の「べあせろべ2007」に参加！『けんちくクラブ』が選ばれ、本年の出場権を獲得。2位は福山支部の「一級建築士製図試験対策講習会」に決まり、来年の出場権を得ました。広島県地域貢献活動セン



ター助成団体によるまちづくり活動発表は、平成18年度実施の5例の発表の中から、「呼子丸1/8再建おのみち実行委員会」が優勝し、表彰状と賞金を獲得されました。

1部、2部とも、発表者は全員パワーポイントを駆使し技術、内容の密度等大変レベルの高い、参加者にとっては理解しやすい発表でした。地域における決して大きくも華やかでもない活動も、地域の多くの建築士の指導性の下、地域住民との温かい連携で築かれていると改めて感じました。

また当日は奈良建築士会の青年部の方が数名来広されており、青年部会の紹介ビデオを放映され、活発な活動を目にすることができました。

終了後の交流会にも多くの参加があり、当日の催しを一段と充実させた楽しい集まりとなりました。最後になりますが、当初より最後までこの企画に手作りでお手伝い頂いた社会活動委員会の委員の皆さんと、各支部の青年・女性部会の方々をはじめ、関係者の方々に心から感謝致します。



MONTHLY 建築士

IROSHIMA



表紙写真について



「尾道カトリック教会」

- 設計監理／ISSEY STUDIO 杉原一正
- 施工／(株)前田組 高橋則之
- 所在地／尾道市栗原東
- 構造規模／鉄骨造 2階
- 敷地面積／742.37㎡
- 建築面積／334.48㎡
- 延床面積／426.14㎡
- 表紙写真／野村和慎



＜家のカタチ＞ 教会（church）という語は、もともと建物のことではなく信徒の共同体を指す言葉である、というような勉強から始まった2年前。新しいんだけど、ずっと前からあったような、信者の皆が集まる大きな家みたいな形がいいんじゃないかと思った。帰ってくると優しく包み込んでくれる初源的で素朴な「家のかたち」。それにもともとここには切妻型の幼稚園の講堂があり、今までなじんできた地域の記憶をも継承できると。

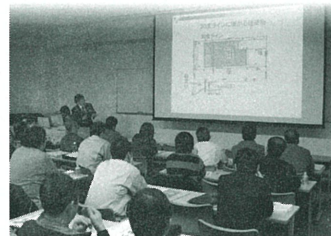
＜聖堂 祝福としての自然＞

栗原通から一直線にのびた軸線上に聖堂は位置し、千光寺山を背景にした切妻型がそのまま内部空間となっている。正面の山からの和紙ガラスごしの光、透明な十字架から見える千光寺の緑、残すことにした共に生きてきた大きな桜。これらを自然の祝福として建築に導き入れたいと思った。

ISSEY STUDIO 杉原一正



平成19年度 建築技術者のための木造住宅耐震技術セミナー



建築物防災週間関連事業の一環として、平成16年度から呉市と住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）主催で毎年実施されていたものですが、今年度から当支部が引き継ぎ開催する運びとなりました。セミナーは福原呉地区支部長の挨拶で始まり、改正建築基準法の動向について（呉市都市政策部次長兼建築指導課長:松本氏）、呉市の耐震事業に係る動向について（呉市都市政策部主幹:宮栄氏）の説明が行われ、確認申請業務に関しての最新情報には、みな真剣に耳を傾けていました。また、耐震改修工事（呉市補助利用物件）に係る設計や現場の状況による変更に関する対応等についての事例紹介があり、設計者（呉市木造住宅耐震改修設計士:島尾氏）及び施工者（呉市登録工務店 (株)神垣組:木村氏）の立場から見た問題点等が説明されました。

さらに、がけ地における地盤計画について（講師:新日本建設株式会社:村上氏）既存建築物のある宅地の地盤調査や地盤改良等を図解及びVTRで説明がありました。耐震補強を計画する上で、上部構造（基礎上）の補強は目視による現場調査である程度の予想ができますが、

呉地区支部事業委員会 渡邊 良一

下部構造（基礎下）については判断が特に難しい面があり、建物補強と同時に地盤の安定化を図ることも考慮に入れて計画していくことが重要です。近年、新築時での地盤調査は一般的になっていますが、建物が建っている状態での地盤調査、地盤改良等は今後の耐震改修工事等で大いに役立てていきたいと考えています。

住宅金融支援機構（住宅金融支援機構中国支店 営業推進グループ:鈴木氏）からは、耐震化工事の融資制度についてお話を頂きました。最後に、東氏（広島県建設労働組合呉支部長）の挨拶は、建築士会の会員であり施工者でもあるという立場から、昨年の建築基準法の改正により施工の流れが一部で停滞している問題を解決するためには、設計・施工・官庁と情報を共有しスムーズな事業展開ができるよう協力が必要だと指摘されました。

現在、県内各市町にて耐震事業等が進められており、南海プレートによる巨大地震がいつ発生するか分かりません。呉地区が発信拠点となり、各地でこのようなセミナーが開催されて耐震事業の取り組みが広がっていくことを期待しています。最後に、本セミナーの共催者である呉市・住宅金融支援機構、ご後援頂きました各建築関係機関の皆様の多大な御協力に感謝いたします。

平成19年度全国青年委員長会議報告

『4の力を鍛えよう』

～洞察力・判断力・実行力・求心力～

三原支部青年部 佐藤 協二

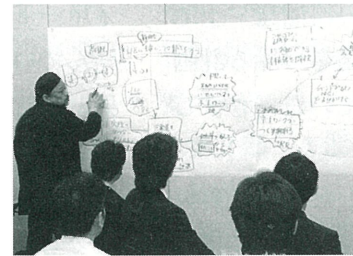
3月7日、8日、平成19年度全国青年委員長会議が東京で開催され、全国から70名の代表の参加がありました。

全体会Ⅰの1つ目は、講演『ワークショップを利用した会議のすすめ ボトムアップ体験』。講師に中埜博氏をお招きし、まずは今後の建築士の進む道について話がありました。近年、建築士の仕事が諸問題、景気により激減している。その中で勝ち残っていく為には、他の建築士とは違う方法を取り入れなければならない。その一つとして『地域のまちづくりに参加をする』という話があり、各地域（1万人単位）にまちづくりボランティア団体（NPOのようなもの）を創設し、地域活動を行い、町の活性化に努める。その事によって町に元気が生まれ、その計画を行った所に仕事が発生するといった内容を、アメリカ、イギリスの事例を出しながら説明していただきました。実は、私自身も行っている事で（三原で小さなまちづくり団体を運営しています）、かなり共感できる部分がありました。（懇親会時に私の問題点について相談させていただきました。）ただこの方法は、時間と労力がかかり、仕事につながる即効性はありませんが、継続することによって、将来の形が見えてくるといった内容でした。

2つ目はグループごとのワークショップで、ワークショップの進め方を体験する為『青年会員の増強を目指して』というテーマに基づき、9名で話し合いを始めました。私は率先してリーダー役を務めました。ワークショップとは、皆さんご存知だと思いますが、一つの課題に対して、どのような問題が潜んでいるかを抽出し、その問題をどうすれば解決できるか、またそれは『いつ、だれが、どのような形で行い、どうなる』といった答えを出し、行動に移す会議のことで、今回はかなり活発な意見が出ました。

3つ目は各グループの発表です。私が先頭を切って発表を行い、講師から多くの質問を受けたのですが、その対応が早く『広島佐藤』の名前はその会場の方は覚えてくれたと思います。1日目はそのような形で終わり、懇親会、夜の東京へと続いていきました。2日目は前日に行ったワークショップのアクションプランの再構築で、前日完成したプランをさらにグレードアップさせる為にグループ会議を開催し、最終発表を行って終了。

今回の研修で私自身が習得した事は、まず初対面の方と会議を開催する時、議事進行者はいかにして、多くの方から多くの意見を頂く為に、和やかな空気をつくるか。また、その意見を集約する時、リーダーシップを発揮し、スムーズな運営、また発表に持っていくかを勉強した気がします。この研修で得た会議の進め方を、広島県建築士会青年委員会に持ち帰り、次の会議から活用し、今後の活動に生かしていきたいと思っています。



2008 Information Calendar 4月・5月の行事予定

4 April

- 7月・二級・木造建築士受験申込書配布（～18日まで）
- 10木・青年部定例会（尾道支部）
- 14月・二級・木造建築士受験申込受付（～18日まで）
- 19土・一級建築士合格祝賀会（福山支部）
 - 一級建築士試験対策講習会（福山支部青年部会）
- 20日・一級建築士試験対策講習会（福山支部青年部会）
- 23水・支部長会議
- 26土・役員会（尾道支部）
- 28月・一級建築士受験申込書配布（～5/16まで）

5 May

- 8木・本部理事会
 - 青年部定例会（尾道支部）
- 10土・三原支部総会
 - 福山支部総会
- 12月・一級建築士受験申込受付（～16日まで）
- 14水・役員会（尾道支部）
- 17土・尾道支部定時総会
 - 福山ばら祭（福山支部青年部会・出展）
- 18日・福山ばら祭（福山支部青年部会・出展）
- 24土・平成20年度建築士会定時総会

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
広島県情報プラザ5F

TEL (082) 244-6830(代)
FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

第3回 まちづくり研鑽会報告

今年度、広島支部まちづくり委員会は、会員の皆様と一緒にまちづくりについて考えていこうと、「まちづくり研鑽会」を開催してきました。3回目となる今回は、神戸から森崎輝行氏をお招きし、「神戸の再開発・土地区画整理・地区計画、そして建築設計―街をつくる計画と建築設計の実践」をテーマに講演をしていただきました。

森崎氏は、種々の建築設計を手がけるとともに、震災後の神戸の復興において数多くのまちづくり活動に携わっておられ、建築設計とまちづくりの両面で広く活躍されています。そんな森崎氏を、安藤忠雄氏は「まちづくり建築家」と呼んでいらっしゃるようです。また、震災後は関西でテレビにひっぱりだこだったようで、ユーモアを交えながらのトークは参加者を強く惹き付けるものでした。

講演内容は、震災を体験した氏と市民の神戸復興の物語を聞いているような気分になりました。その中で随所に、建築家として震災を経験した氏のまちづくりに対する考えが織り交ぜられ、大変説得力があります。震災直後の混乱の中で、氏が気づき、考えたことは、シンプルで基本的なことです。その多くは、我々も学校や書物から学んでいるはずの基本的な事項（例えば、建築物は人間を外的要因から守るもの）ですが、それを実感、体感したことのある人は少ないのではないかと思います。

そうした体験から氏は、まちづくりにおいて人が動くキッカケを、安直、安全・安心、安価の3つのキーワードで表現されています。多くの人々の間で共通認識を持ちやすく、また人間の本質的欲求でもあるので、大きな力に成長していく可能性を秘めているということでしょう。氏が携わった神戸の復興まちづくりにおいても、他の一般的なまちづくりと同様に、個と社会の矛盾や次代への継承など、様々な課題がありました。しかし、人間

広島支部まちづくり委員会 金森 俊之

の本質的欲求を体感した市民は、3つのキーワードを共通認識として持ち、また、建築家としての職能と震災を体験した一人の人間としての経験を活かした氏のコーディネートによってまちづくりに対する意識を高め、実を結んでいったのです。神戸においては不幸にも被災の結果として、3つのキーワードが共通認識となりました。しかし、不幸な出来事以外でこのキーワードを共通認識として市民に持ってもらよう工夫することが、まちづくり活動において重要なのではないかと思います。



さらに、氏の復興まちづくりにおいて実を結んだのは、まちや市民だけではなく、建築士として専門知識のある氏は、再開発や土地区画整理など様々な手法を提案、実践することにより、市民に信頼され、その結果、建築設計の仕事を任されるようになりました。それは氏にとっても、非常に大きな実となったのです。

まちづくり活動は建築士のボランティア活動、社会貢献活動といったイメージが少なからずあると思いますが、氏は建築設計とまちづくり活動を同時に実践されています。実は今回氏をお招きしたのは、そうした活動をお話しいただくことによって、まちづくり活動に興味を持っていた会員の方に、まちづくり活動に関心を持っていただきたい。また、日頃ボランティアで活動するこの多い委員にとっても次のステップへの参考になるのではないかという思いがありました。講演の詳細を紙面ではお伝えすることができないので残念です。次回は、ぜひ多くの方にご参加いただければ幸いです。

平成19年度 第34回支部対抗ボウリング大会について

2月23日（土）、福山市の「キャッスルボウル福山」で恒例の支部対抗ボウリング大会が開催され、各支部予



選で選出された選手42名と応援団の、総勢60名余りの方が参加されました。

結果は昨年の宣言通り、福山支部がリベンジを果たし、見事優勝に輝きました。

<団体の部>	<個人の部>
優勝 福山支部	優勝 大角成美（福山支部）
2位 広島支部	2位 小川昌良（尾道支部）
3位 尾道支部	3位 田辺雅亨（福山支部）

「住宅瑕疵担保責任履行の義務化に伴う施工技術講習会」を終えて

県北支部事業委員長 清水 徳雄

県北支部事業委員会は、2月16日（土）、三次市まちづくりセンターにて「住宅瑕疵担保責任履行の義務化に伴う施工技術講習会」を行いました。本講習会は、「特定住宅瑕疵担保責任履行の確保等に関する法律」が、平成21年10月以降の引き渡し物件から適用されるため、県北の事業所経営者をはじめ、設計者や現場管理者、また各職人の皆さんに、10年の瑕疵保証に合致した正しい施工方法を習得していただくためのものです。ご案内をしたところ、85名の方々のご参加をいただきました。

講習内容は、広島県建築士会の中の住宅性能保証係が扱っています（財）住宅保証機構よりお2人を講師としてお招きし、法改正についての説明や手続き等についてのお話と、住宅保証機構の10年保証の仕様書に沿って、二種ごとに分けて行いました。

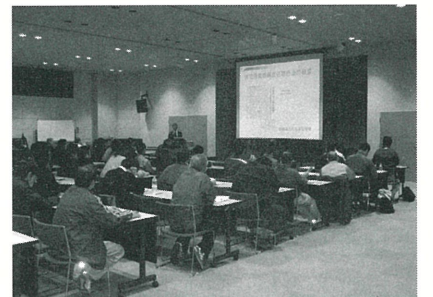
*第1部担当の河野氏のお話

耐震偽装が発覚するまでは住宅品確法により売主に対して10年間の瑕疵担保責任が義務付けられていたが、売主の都合（倒産等）によってそれが履行されず、住宅所有者を保護することができなかった。そこで昨年5月、全ての新築住宅の売主や請負者に対して、瑕疵担保保証金の供託か保険加入を義務付ける法律が公布された。公布の経緯と、さらに5月頃には保険法人が指定されるの

で、来年の10月以降の引き渡し物件は予め保険申し込みをすること。また、保険を利用する場合、確認申請が不要な地域でも新築住宅着工前に図面や書類を添付して登録申請を行い、建築中に現場審査を受け、合格する必要がある。

*第2部・3部担当の森本課長のお話

基礎工事や木工事・左官工事に屋根工事などの施工ポイントや、壁量計算・4分割法・N値計算から継ぎ手・仕口の金物選びや緊結方法などについて、現場審査時の体験談を交えて説明。



各事業所の経営者や設計者・現場管理者・職人の方々は、熱心に聴き入っていました。受講された皆様は、「住む人が安心して安全に暮らせる住宅」を消費者に提供するためにも、本講習会で学ばれたことを早速、業務に生かされることを期待いたします。長時間のご聴講お疲れ様でした。

最後になりましたが、ご講師の河野様、森本様、大変お世話になりました。

第10回フォーラム「建築なんでも探建隊」紙が変身ミニハウス!「みんなで作ろうバラが咲く街」



3月9日、市民と建築士の交流形式のフォーラムを開催しました。建築士会会員で、県立府中東高校教師の原田洋臣先生・生徒さん・茂上香織先生・福山女子短期大講師の杉原一正先生、学生さん計4名のご協力を得て、子ども17名と大人19名が参加。緑町公園を街並みに見立て、先生が考案の（鞆の町家・世界遺産の建物もさりげなく織り込んでくださいました）住宅模型と庭造りを、バイキング形式で作成しました。パズルを解き明かすよ

うに、各自で組み立てに挑戦し、アイデアいっぱいのホップな街並みができました。

司会者・大賀さんの絶妙なインタビューによる、参加者の声を1部紹介します。「難しそうだったけど、室内の間仕切りに挑戦した」（初めて参加女性）、「屋根をばらに似合う色にした」（小4女子）、「孫と春休みに体験します」（参加2回目おじいちゃん）、「一番難しそうな家に挑戦した」（参加3回目小3）、「娘とスペースを競って作りました」（子どもと参加のおかあさん）などなど。

楽しい交流が繰り広げられた3時間になりました。心配していたカッター使用時のけが人も無く、関係者の方々ありがとうございました。

